

令和3年度 狭山市立富士見小学校学校関係者評価表

※評価資料：保護者による学校運営に関するアンケート（12月web回答にて実施）

※【保護者評価の目安】

- A：十分に達成されている
- B：概ね達成されている
- C：どちらかというと不十分である
- D：不十分である
- E：わからない

領域	番号	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員から 評価(文章表記)
			評価	説明	
学校運営全般	1	教職員は、学校経営方針の具現化を図るために積極的に取り組んでいる。	B	○91%が積極的に取り組んでいると回答。めざす学校像は「笑顔があふれ何事にも本気で取り組む学校」であった。全教職員が「笑顔」と「本気」を合言葉に児童の育成にあたれていた。 ○91%の児童が「学校が楽しい」と感じていた。残り9%の児童へ引き続き支援を講じていく。	○個々の児童に対してきめ細やかな対応をされており、保護者が職員を信頼している様子がうかがえる。毎日の業務に追われる中で、職員は教育活動、学校運営に熱心に取り組み、子供の教育に力を尽くしていると思う。 ○学校教育では、優秀な人材の育成より、支援が必要な子供たちへ救いの手を望みます。 ○富士見小の児童数が多いというメリットを活かした教育活動を、担任どうしのチーム力の発揮、職員事故の皆無、児童間交流、集団活動を通した人間形成など。 ○富士見小は築50年です。子供たちの教育の場として、現状でよいのか、確認の場が必要だと思います。トイレの改善を最優先に、建物の補修、遊具の近代化など。 ○登校時の児童はまだ眠いのか、元気があまりない児童もいるが、下校時は明るい顔で友達と仲良く歩いている。1日の学校生活が充実しているのが、その姿から見てとれる。
	2	児童は、「学校が楽しい」と言っている。	A	○94%が熱心であると回答。児童一人一人へのきめ細かい指導が行き届いていた。学力・学習状況調査の結果も、平均がそれ以上であった。授業づくりに熱心な教職員が多い。	
	3	教職員は、担当する学級の経営や教科等の指導に熱心に取り組んでいる。	A	○91%が「様々な相談に対して、適切に対応している」と回答。担任だけではなく、他の先生方やカウンセラーなど親身に相談に乗っていた。	
	4	学校は、保護者からの様々な相談に対して、適切に対応している。	A	○85%が安全に管理されていると回答。校舎内の破損箇所や危険箇所の修繕、通学路の舗装など、安全管理は積極的に行っていた。大きな事故はなかった。課題は和式の多い古い高学年トイレへの意見が多かった。1つではあるが今年度洋式トイレが設置できた。清掃はPTAの手を借りながら学校の美化に努めた。	
	5	学校の施設・設備は安全に管理されている。	B		
学力向上	6	学校は、児童が興味関心のもてる授業、わかりやすい授業を実施している。	B	○92%が「児童が興味関心のもてる授業、わかりやすい授業を実施している」と回答。算数科の校内研修により、教員の授業力向上を図ってきた。児童の国語力も同時に伸びてきている。	○職員がよく努力をされている様子がうかがえる。家庭学習の習慣化を定着させていくためには、保護者の意識をより一層高めていくことが必要と思われるので、この点については、PTAとともに考えていくことが望ましい。 ○集団登校は非常によい仕組み。各学年それぞれの立場でグループ活動がなされている。あいさつなど、互いの支援ができており、成長がうかがえる。
	7	学校は、「読む・書く」「計算」の基礎学力を確実に身につけるように指導している。	B	○95%が基礎学力が身につけていると回答。朝の算数タイムや朝学習で習熟を図ってきた。長期休業中もプリント学習に取り組んできた。	
	8	教職員は、授業を通して、児童の思考力・判断力・表現力を育てている。	B	○93%が思考力・判断力・表現力が育っていると回答。学び合いの授業を通して、考える力が育ってきている。 ○91%が家庭学習の習慣を身につけていると回答。本校ではおおよそ学年×10分以上の家庭学習を毎日課してきた。	
	9	学校は、児童に家庭学習の習慣が身につくように指導している。	B		
規律ある態度	10	学校は、児童に進んであいさつができるよう指導している。	B	○88%が進んであいさつができるよう指導していると回答。一方、「進んで」という点で課題がある。 ○88%が言葉遣いの指導をしていると回答。正しい日本語が身につくよう、教職員が指導に努めている。	○子供は大人の言動をよく見ているもので、あいさつについては、親や地域の大人が模範を示し、教えることが望ましいと思う。コロナの影響により地域の行事ができにくい状況にあるが、様々な機会を捉え、学校外活動の中で大人が道徳的な面で関わることで、子供も社会性を身につけていると思う。 ※個々の児童はよくあいさつができると思う。 ○上記同様、保護者へのアンケート結果を見る限り、保護者からの学校評価は高く、問題なく学校運営されたものと確信しております。
	11	学校は、児童が時と場に応じた言葉遣いができるよう指導している。	B	○89%がお互いのよさを認め合うことができていると回答。いじめについては今年度3件確認し、解消率は100%である。	
	12	学校は、児童がお互いのよさを認め合うことができるよう指導している。	B	○94%がマナーやルールを守って生活していると回答。コロナ禍の中、マスク着用や黙食など、新しいいきまりを守って生活できている。	
	13	学校は、児童がマナーやルールを守って生活できるよう指導している。	B		
健康・体力向上	14	学校は、児童の体力が高まるよう指導している。	B	○87%が体力が高まるよう指導していると回答。一方、本校の新体力テストの結果は県平均より下回るものが多かった。コロナ禍の中、運動の機会が減ってきている。	○学校は児童に気遣いながら、基礎体力と健康の向上に取り組んでいる。体力と健康については、保護者がより強く意識を持ち、学校と保護者が両輪の如く共に取り組むことが望ましい。 ○学校関係者のコロナ陽性者は知っているだけで数件あったものの、大事に至らず防止できたことは、保護者・教員の皆様の努力の現れです。素晴らしい結果と感じます。 ○子供たちの体力が心配だったが、冬休みに元気に外で遊んでいる姿を見て、適度の発散はできているのだと安心してはいる。やはり、子供たちの声が聞こえるのはうれしい。
	15	児童は、児童が健康を意識した生活ができるよう指導している。	B	○91%が健康を意識した生活ができるよう指導していると回答。コロナ禍の中、衛生面についての意識は高い。 ○94%が感染拡大予防のために適切に努めていると回答。学校公開や学校行事の制限、中止は多かったが、一定のご理解は得ている。	
	16	学校は、新型コロナウイルスの感染拡大予防に適切に努めている。	B		
地域連携	17	教職員は、保護者や地域との連携を図りながら教育活動に取り組んでいる。	B	○90%が連携を図っていると回答。令和4年度の開校50周年記念に向け、PTAとの連携も密になってきている。 ○90%が情報提供していると回答。学校だよりや緊急メール、ホームページを通して情報発信している。今年度はコロナ不安等で登校できない児童へ、タブレットによる授業の生配信も実施した。	○保護者や地域に対する情報提供がよく行われており、職員の姿勢に好感が持てる。様々なご苦労もわかる。健康に留意して頑張ってもらいたい。 ○今年1年もコロナに振りまわされ、何かと変更だらけだったが、地域への情報がいち早くと流していただけたので、安心して子供たちを見ていられた。
	18	学校は、学校便り等で、教育活動の様子を家庭や地域に情報提供している。	B		